



第2回附属環境工学研究教育センター研究交流会

日時：令和2年12月8日（火）13：10～16：30

開催形態：会場とwebのハイブリット方式

会場：附属環境研究教育センター 2階 多目的にセミナー室

Web会議システム：Microsoft Teams

プログラム

司会進行：中山 裕文 准教授

1. 開会挨拶

附属環境センター センター長 島岡 隆行

2. 研究交流セッション

発表：10分、Q/A:5分

第1部: グローバル課題研究ハブ

有害廃棄物安定化ユニット（出光研究室）

13:15 発表者名: 吉田 圭祐 (M2)

高レベル放射性廃棄物及び使用済み燃料の地層処分について：ベントナイトと銅の相互作用

13:30 発表者名: 来海 寿宏 (M1)

高レベル放射性廃棄物及び使用済み燃料の地層処分について：鉄共存下でのガラス固化体の浸出挙動

環境調和材料ユニット（林研究室）

13:45 発表者名: Jia Shufan (D2)

All-Solid-State Na-ion Battery Based on Glass-ceramic NASICON-structured $\text{Na}_3\text{Ti}_2(\text{PO}_4)_3$
Anode

発表者名: Zhang Ziyue (M2)

Hard Carbon / NASICON Composite Anode for Au-Solid-State Sodium-ion Batteries

環境・鉱物資源ユニット（今井研究室）

14:00 発表者名: Jacob Kaavera (D3)

On the origin of disseminated Ni-Cu-PGE sulfides associated with ultramafic rocks of
Molopo Farms Complex intrusion in southern Botswana

14:15 発表者名: 國分峻太 (M2)

フィリピン共和国ミンダナオ島南東部に位置するマサラ金鉱山及びカサパ地域の
鉱石鉱物の特徴と流体包有物

第2部: インターフェース課題研究ハブ

環境ソフトマテリアルユニット（原研究室）

14:30 発表者名: 國廣 大志 (M2)

液晶エラストマーの弾性率温度変化

生態工学ユニット「市民科学と海洋環境教育の2020年の急速な進展」（清野研究室）

14:45 発表者名: 清野聡子 (准教授)

福岡における海洋環境教育の実践と発展可能性

15:00~15:15 休憩

司会進行: 小宮哲平 助教

第3部: ローカル課題研究ハブ

資源循環・廃棄物研究ユニット（島岡研究室）

15:15 発表者名: 土屋海渡 (M2)

最終処分場における遮水シート大気暴露部と廃棄物埋没部の劣化 要因に関する研究

15:30 発表者名: 徳永和紀 (M1)

海面処分場の早期安定化における廃棄物固化式処分システムの適用に関する基礎的研究

環境・防災ユニット（三谷研究室）

15:45 発表者名: Tian Lu (D3)

Evaluation of land use changes and disaster susceptibility zone using Geo- spatial information

16:00 発表者名: 村岡龍 (M2)

防災カルテの定量的評価に基づく斜面総合評価手法の道路防災点検への適用

地熱資源ユニット（藤光研究室）

16:15 発表者名: 松本光央 (助教)

地熱貯留層の評価・生産手法の改良に関する研究と人材育成の取組み

3. 閉会挨拶

附属環境センター センター長 島岡 隆行